

# 活動事例紹介 竹環会

交付金事業期間  
H25年～27年

阿南市  
竹林整備  
0.9ha



## 竹林整備を定年後のライフワークに！

### ○メンバー構成、プロフィール、活動の目的○

組織発足時は、6名のメンバーで活動をしていました。地元企業のOBや県外企業を退職後に移住してきた人など、出身地は様々ですが、全員が元会社員であり、まずは竹林整備についての勉強会を始めるところから、活動をスタートさせました。阿南市福井地区には、所有者の高齢化もあって、整備されず放置された竹林が多くありました。そのような竹林の中から、整備することを条件に作業地をお借りし、平成25年から「整備された竹林の復活」を目指して竹林整備活動を行ってきました。

### ○現在の活動内容○

交付金活用時の竹林と同じ場所を、現在は3名のメンバーが引き続き整備しています。メンバーごとに作業地を区分けし、お互いに情報交換しながら、家族や知り合いにも手伝ってもらいながら、それぞれが整備活動を継続しています。毎年10月頃から竹林の整備作業を開始し、4月、5月にたけのこを収穫して、地元の食品加工会社に卸しています。

整備された竹林は憩いの場にもなっており、たけのこの収穫時期には、家族や地域の人と一緒にたけのこを掘りに行くこともあります。



整備された作業地



青木 宏典代表 と 北村正典さん

### ○交付金終了後の活動資金について○

もともと利益追求型の活動組織ではないため、交付金終了後は、マイペースにたけのこ採取（含む販売）と竹林整備活動を行っています。

竹林整備の作業は、最初の2～3年が作業量も整備費用も多く、大変でしたが、現在は5年目となり、整備にそれほど費用がかかるわけではありませんので、楽しみながら活動を継続できています。

### ○課題と今後の活動について○

竹林整備は斜面での作業も多いため、足腰に負担がかかります。そのため、年齢が進むにつれて体力面での不安は増えています。また、整備竹林には、猪などの食害があり、春から秋にかけてはマムシも出現します。

そのような動物の被害についても課題となっていますが、現状はマムシの出る時期に作業をしない等の対策しか取っていません。

このように、活動の継続には課題もありますが、私たちを信頼して竹林整備を託して下さっている所有者のためにも、自分たちの体力が続く限りは、マイペースで息の長い活動を続け、山と人が関わり、山の恵みを大切にすることで森の環境を守ること、このような森林の多面的機能を増進していきたいと考えています。



整備中の竹林